

令和8年度 東部地区幼・保・小連携推進協議会 実施報告

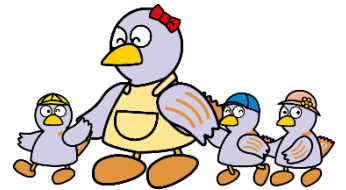
- 1 期 日 令和8年7月30日（木）
2 方 法 Microsoft Teams（オンラインによる）
3 目 的

東部管内において、幼稚園、保育所、認定こども園、小学校及び義務教育学校（前期課程）の教職員による研究協議会等を実施することにより、異校種の教育への理解促進及び異校種との連携意識の高揚を図り、幼児期の教育と小学校教育との円滑な接続につなげる。

4 内 容

（1）全体会

- ①【国及び県の関係事業説明】
②【講演】講師 杉戸町立杉戸第二小学校 校長 丸尾 環 様



埼玉県マスコット「コバトン」

（2）分科会【研究協議】

- ①保育・幼児教育従事者と小学校の先生が、それぞれの保育・教育への理解を深めるためにどのような工夫が必要か。
②子供の発達や学びの連続性を確保するため、各園や学校としてこれから何に取り組んでいく必要があるのか。
③必要な体験を得られるように指導計画を作成するには、どのような工夫が必要か。

5 参加者 小学校等・幼稚園・保育所・認定こども園・東部管内各市町教育委員会

合計176名

6 参加者の感想

- 幼稚園や保育園の先生方が子供たちに身に付けさせていた
だいているものの重要性を改めて感じることができました。
それを基に小学校でも接続を意識して成長を支えていき
たいと思います。
- 幼児教育と小学校教育のそれぞれの質の理解をした上で、円
滑な接続がとても重要だということが学びにつながりました。
- 幼・保・小の先生方と協議を行うことで、自身の園で取り組めることがもっとあるこ
とに気が付くことができました。
- 小学校の先生だけでなく、幼稚園や保育園の先生のご意見等を聞くことができたのが
とても良かったです。また、同じ小学校教員でも、市が違うだけで取組みや活動に違
いもあったため、そういったところを知ることができたのもとても良かったです。
- 様々な先生方とお話しさせていただく中で、情報交換の大切さ、
園とのつながりをつくること、目指す子ども像（育てほしい
姿）を共有していくことの必要性を感じました。
- グループの皆さんの意見が、日常の様子が大変に浮かぶものでし
た。イメージしやすかった分、もっとできそうなことや改善して
いきたいことが明確化され、有意義な時間になりました。

